

# in vitro 皮膚腐食性試験 (OECD TG435)

- ・OECDテストガイドライン435(膜バリア試験)に対応した皮膚腐食性試験です。
- ・InVitro International社(USA)のCORROSITEX<sup>®</sup>を使用します(動物不使用)。
- ・EU(CLP規則)やGHSにおける「区分1」(皮膚腐食性)に該当するかどうかを判別できます。
- ・GHS分類、SDS作成、REACH登録、国連輸送・容器等級等に活用可能です(GLP対応可)。

## ■ 試験フロー

### ① 試料の適用性確認



試料添加前

試料添加後

試料添加時の試験液の変色確認  
⇒変色すれば試験に適用可能※

### ② 色チャートを用いた試料のカテゴリー分け



試験液に試料を添加



色調を色チャートで確認し  
カテゴリー決定

### ④ カテゴリー・変色時間を元に腐食性を判定

変色時間(分)		UN GHS区分
カテゴリー 1	カテゴリー 2	
0~3	0~3	腐食性あり(区分1A、容器等級 I*)
>3~60	>3~30	腐食性あり(区分1B、容器等級 II*)
>60~240	>30~60	腐食性あり(区分1C、容器等級 III*)
>240	>60	腐食性なし(区分2以下)

UN GHS: 国際連合 化学品の分類および表示に関する世界調和システム

\* 国連危険物輸送勧告 (UNRTDG)

### ③ 膜バリア試験



被験物質が膜を透過し  
検出試薬が変色する時間を測定

※試料の適用範囲: pHが4.5~8.5の水溶性物質は多くの場合、試験に適用できません。

★ CERIでは腐食性の有無が既知の被験物質12種類による皮膚腐食性試験を実施し、いずれも既報と同様な結果を得ています。

**CERI** 一般財団法人 化学物質評価研究機構  
Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

(東日本担当窓口)

化学物質安全センター営業企画部

Tel: 03-5804-6134 / FAX: 03-5804-6140

E-mail: cbc@ceri.jp

(西日本担当窓口)

化学物質安全センター大阪支所

Tel: 06-6744-2045 / FAX: 06-6744-2052

E-mail: cbc@ceri.jp

ホームページからのお問合せも承ります。URL <http://www.cerij.or.jp>